

にいがた 若者座談会

2021

にいがたの“いま”を知る 共通のにいがたでメンバーと繋がる EVENT



Report

2021 2/21 sun 16:00~18:00

オンライン開催



「こんな新潟なら帰りたい」をテーマに、新潟を良くするアイデアを話し合いながら、新潟県出身者の繋がりをつくる場です。第3回は、「起業・IT企業」「古民家・場づくり」「農ある暮らし・就農」「地域の情報発信・地域おこし協力隊・多拠点生活」「リモートワーク・地域ブランディング」「コミュニティ・複業・二拠点生活」「転職」など様々な分野で活躍する県内ゲストと、それらの分野に関連する県内団体が参加し、新潟の魅力について意見を聞きながら交流しました。オンライン開催し、県内外で暮らす新潟県出身者を中心に、40名以上の方々に参加いただきました。

2021.2.21(SUN).
今だからこそ考えよう
こんな故郷に帰りたい...
を語り、交流する会

にいがた 若者座談会
2021年2月21日

農業 Crew
デザイナー
長野美風さん

新潟県 新規就農 相談センター
伊藤一芳さん

地域の情報発信 地域おこし協力隊 多拠点生活
大塚真さん
アロバザ・目録

転職
新潟県Uターン コンシェルジュ
本間史子さん

起業/IT企業
SN@P新潟 荒川由晃さん
INSIGHT LAB CEO 遠山功さん

リモートワーク
株式会社 3Dアニメーションデザイナー
芳川大樹さん

古民家・場づくり
全日本不動産協会 新潟本部理事 中村桐喜さん
古民家カフェ & デイニング TREE マネージャー 中川裕稀さん

コミュニティ/複業/二拠点生活
Flags Niigata 代表 後藤寛勝さん

Comment
不安な生活 ↓ リアルな仕事 移住のハナシを知れた。
☑ 対処法を知れた
☑ 勇気の出し方
継続・仲間を探す

理想と現実について知れた
☑ 古民家
☑ 山
1年間で新潟がよく知れた。
悩みの共有ができた。

参加者から作成してもらったグラフィックレコーディング



参加者の声

- ・ゲストの方がフレンドリーで、説明も分かりやすく参加して良かったです！
- ・新潟で就職するメリットについて聞いてとても参考になりました。
- ・Uターンに向けて、今回得た知識をもとに今後実行していきます！
- ・古民家の実情が分かり、とても役に立ちました！
- ・新潟は、ものづくりを地域内で手掛けているのがカッコイイと思います。
- ・自然は大きな財産。新潟は四季が豊かなのが素晴らしい！

にいがたの特産品付！

新潟はお米をはじめ、食材が本当に豊か。今回の座談会では、最終回ということもあり抽選で新潟県の特産品をプレゼントしました。新潟の美味しい地酒や軽食を食べながら、楽しく交流しました。



[左から] 手づくり焼きドーナツ(株式会社しばうま本舗) / 麒麟山ピクボトル 吟醸(麒麟山酒造株式会社) / やなぎのピクルス(柳醸造株式会社) / 揚げおかき(新潟米菓 さくら堂)

7つのルームに分かれて、聞きたいことをゲストに直撃！今回は興味のあるテーマのルームを自由に行き来し、様々な視点からUターンや地方での暮らし、仕事について語り合う時間となりました。

ROOM

起業 / IT企業

遠山功さん

INSIGHT LAB 株式会社
代表取締役 CEO

荒川由晃さん

スナップ新潟
運営事務局



大好きな新潟でなにをやりたい？ 起業は手段。

「新潟で起業したい！」という声には「起業は手段ではない。何を目的に起業するのか。自分の想いを伝えていくことが大事」「新潟の起業支援団体と繋がっておくといい」「既存のネットワークにどう切り込んでいくかが課題」など現場ならではのコメントも。また「上越は海も山もある」「燕三条は地域内で循環していてカッコイイ」「柏崎で蛭をたくさん見て感動」など新潟の各地自慢でも盛り上がった。

ROOM

古民家・場づくり

中川裕稀さん

古民家カフェ&ダイニングバー
『TREE』マネージャー

中村綱喜さん

全日本不動産協会
新潟県本部 理事



古民家って実際どれくらいかかる？ 地域で活用するには？

「維持費はどれくらいかかるのか」「税金はどれくらいかかるか」など、金銭的な質問が多く上がる。面積が広い分お金がかかったり、土地代がネックになるなど、詳細な部分まで話が及んだ。また「地域内にあるアウトドアブランドとの連携はどのように進んだのか」という質問には、「はじめは自費で企業の商品を購入しイベントを開催した。その後、企業からコラボレーションの相談をいただいた」と中川さん。

ROOM

農ある暮らし / 就農

長野美風さん

農業 Crew /
デザイナー

伊藤一芳さん

新潟県
新規就農相談センター



女性の視点から農を考える。

現役農家の参加者が発した「女性の方が就農や農ある暮らしに興味がある方が多い」という声から、女性には専業農家が人気という話に。重い物を持たなくていい、水耕栽培が主流であり汚れない、新潟には「越後姫」というブランドがあるなどが主な理由になっているという。また「新潟はブランディングが弱い」という声や、長野さんのデザイナーから農業に関わっていった経緯など、様々な角度からの農を考える時間になった。

ROOM

地域の情報発信/ 地域おこし協力隊/多拠点生活

大塚真さん

『とかとこ』経営ディレクター/
ライター/TURNSアドバイザー



地方は若者にチャンスを与える

「なぜ地方なのか?」「地域に馴染むのに苦労した点は?」など、質問が上がる。「若者にチャンスを与えるのが地方の魅力。やりたいことがあると、人とつながりやすいし、応援してくれる人も多い」「明確でない場合は、地域のサポートから始めてみるのがいいと思う」と大塚さん。また「クラフトビールを作って bar で出したい」という声には、事業継承の補助金が活用できるのではと、具体的な話で盛り上がった。

ROOM

リモートワーク/ 地域ブランディング

芳川大樹さん

株式会社メタ・マニエラ
デザイナー



コロナでリモートワークしやすく。 スタートアップ拠点をうまく使って。

「移住前から何か行動していたか」「新潟にリモートワークの支援はあるのか」「Uターンした後の地域との繋がりはどうやって作ったのか」「どのように東京の会社を説得したのか」など、コロナで関心が高まっていることもあり、具体的な質問が飛ぶ。芳川さんからは「地方にも魅力的な仕事はある」「スタートアップ拠点もあるので繋がりも作れる」「地元で仕事をつくり、まずは実績を作ることで会社を説得した」などの話があった。

ROOM

コミュニティ/ 複業/二拠点生活

後藤寛勝さん

Flags Niigata 代表/
プロデューサー



思いを行動に。つながる一歩がほしい。

「オンラインで語れる仲間がほしい」「オーダーメイドの就職相談があれば利用したい」「新潟県出身者を軸に人と繋がる場がほしい」など、より深く人と繋がりたい、新潟のために何かしたいという参加者の想いが感じられた。後藤さんからは「オンラインコミュニティの中では、悩みややりたいことを発信すること。そして、同じ気持ちの人、それを乗り越えた人に頼ることが大切」「"出身地が同じ"というのは、生まれながら持っている最強の資格です!」という言葉を受けた。

ROOM

転職

本間史子さん

新潟県U・Iターン
コンシェルジュ

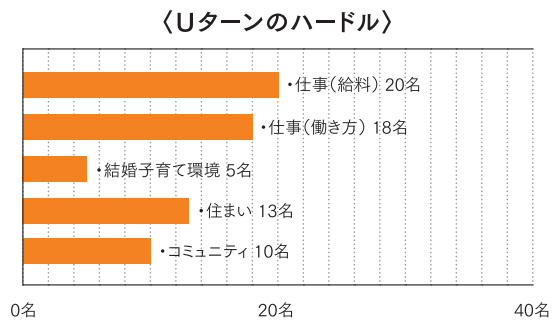
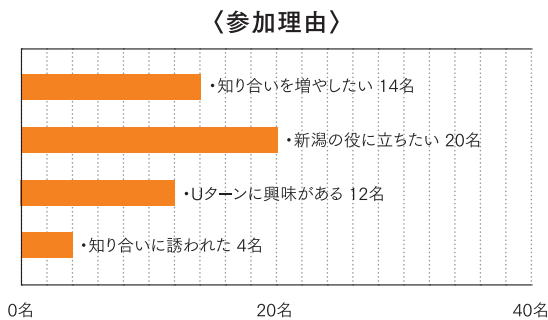
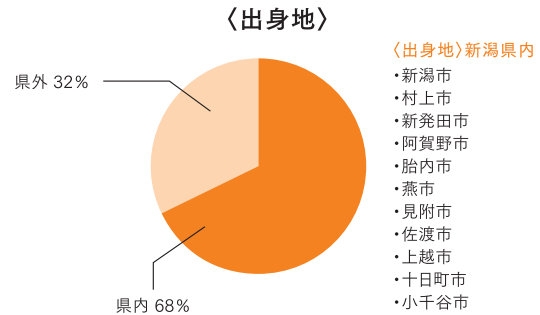
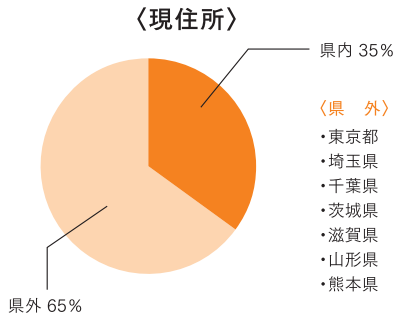
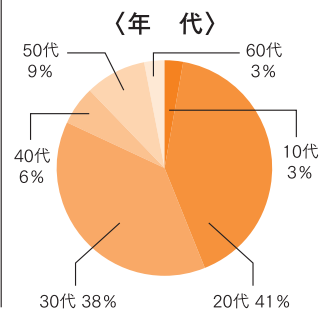
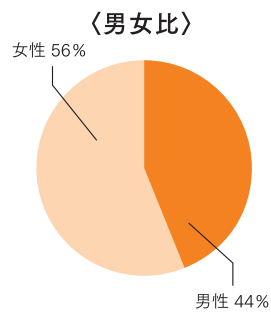
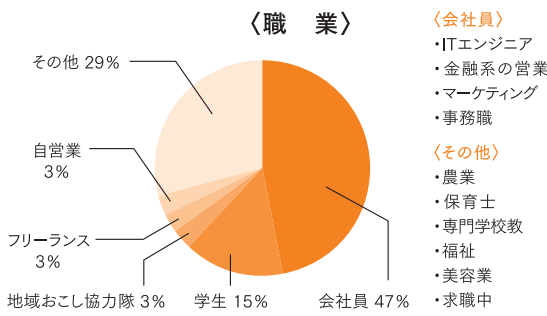


どんな相談でも、まずはコンシェルジュへ。

「新潟の転職活動はどれくらいから始めたらいいか」「新潟の企業から業務委託で仕事を受けたい」など、漠然とした悩みから具体的な相談まで幅広く質問が上がった。本間さんからは、「メールや電話で、お仕事の提案から書類の添削、新潟の企業とのやりとりなどをサポートさせて頂いているので、気軽に相談して欲しい」と嬉しい言葉も。まずは何事も積極的に情報収集することで、新潟での就職の糸口が見えてくることが分かった。

こんな方が参加しました！

にいがた若者座談会



2020年

#わたしのにいがたじかん
TALK CAFE を開催しました！

1回目の様子



2回目の様子



予告

2021年も女性限定の交流イベントを企画中！
SNSをフォローして最新情報をチェックしてください！



〈 Twitter 〉



〈 Facebook 〉



〈 Instagram 〉



〈 LINE 〉

新潟にU・Iターンした女性の声を集めた冊子
「にいがたじかん」を無料でお届けします。

● 郵送希望の方は
こちらから →



● ホームページからご覧いただけます

にいがた暮らし

検索

事務局

[イベント企画・運営]

株式会社第一プログレス(TURNS)

TEL ▶ 03-6269-9732 / MAIL ▶ event@turns.jp

詳細はこちら ▶

にいがたU・Iターン総合サイト

「にいがた暮らし」

https://niigatakurashi.com/



主催：新潟県

協力：とかとこ / Flags Niigata